

ボランティアいろいろ..

ボランティア活動紹介...こんなボランティア活動も

じみちな活動ですが、特に災害時の有効活用について

～研修・訓練を行っています～

「大阪狭山ラジオクラブ」略称OSRC：登録NO. 316取材

クラブの歴史と活動内容

【クラブの設立】

SAYAKA ホールの1階にある無線室はどなたでも一度は見たことがあると思います。

SAYAKA ホールのオープニングと同時にスタートした大阪狭山アマチュア無線クラブ（JK3ZCR）と狭山クラブ（JR3YRL）が2015年5月に統合して大阪狭山ラジオクラブとして39名でスタートし、現在は45名の会員がいます。



無線室の外景



無線室内の様子

【無線の魅力】

アマチュア無線は、年齢・性別・職業を問わず皆さんが平等で、幼児から高齢者まで多くの仲間が世界中におります。電波を通じて偶然に出会った見知らぬ人々と気軽に話をして友達になれます。

このような体験は、アマチュア無線でしか味わえないものであります。

最近の携帯電話やインターネットの普及で、アマチュア無線局数も減少しています。しかし、これらの方法とは違った楽しみ方があります。



取材に協力していただいた皆さん



世界に向けて情報発信する世界図

SAYAKA ホールの無線室は、毎週日曜日に午前 10 時から 2 名体制で国内・海外にいろいろな情報を発信しています・市民の皆さままで興味のある方は見学にきてください。

同クラブは「大阪狭山市総合防災訓練」「狭山池まつり」への参加、災害時のために「非常通信」の無線通信訓練を実施しています。

今年度は「狭山池築造 1400 年記念無線局・8J3SP」を開設して国内・海外に向け同事業の情報を発信し、広報活動として「大阪狭山市」を宣伝しています。

また、他市の小学校からサポート要請を受けて、国際宇宙ステーションに滞在している大西宇宙飛行士と交信するスクールコンタクト事業に関係団体と協力していますが、大阪狭山市の小学校でも実施ができると面白いですね。

「大阪狭山ラジオクラブ」を取材してのコメント

平均年齢 70 歳以上であるが、交信している姿を見ると、ハツラツとして、まるで童心にかえったようです。携帯電話の普及で無線の魅力が薄れたように思っている人が多いようですが、昔は、アマチュア無線は“趣味の王様”と言われていました。

CQ、CQ（呼び出し どなたでも応答してくださいという意味）カッコウよかった。

興味深いのは、宇宙飛行士と交信する予定だそうです、当大阪狭山市の学校にも出来たらどんなに素晴らしいことか、期待したいと思います。



HOME

大阪狭山市市民活動支援センター